

プロジェクト名	水空間デザインプロジェクト会議	
設置日	平成25年10月28日	
目的	琵琶湖を観光資源として戦略的にそのポテンシャルを引き出し賑わいの創出につなげるため、おまつり広場からなぎさのテラスにかけての琵琶湖湖上において、人々が水に触れ、憩いを感じ、人と自然が共生する水空間の創造を目指し、周辺の水辺環境に配慮した湖上の活用方策を検討し、水空間デザイン（案）を提案する。	
活動内容 （予定含む）	①水空間の整備に関する事業計画（=水空間デザイン（案））の作成、提案 ②水空間整備にあたっての関係者との協議・調整	
2期計画の位置づけ ※該当する方針にチェック	<input type="checkbox"/> （基本方針1）大津駅前・湖岸を結ぶ都市機能の集約・複合化 <input type="checkbox"/> （基本方針2）大津百町の歴史・文化を生かす暮らしとにぎわい創出 <input checked="" type="checkbox"/> （基本方針3）琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり 【該当事業又は関連事業】	
人数	5	
リーダー	山本 進一	(株)まちづくり大津 取締役
サブリーダー	松岡 拓公雄	滋賀県立大学環境科学部 教授
プロジェクト委員	石川 亮	成安造形大学附属近江学研究所 研究員
	寺田 智次	(株)まちづくり大津 監査役
	秋村 洋	(株)まちづくり大津 取締役
適用・特記事項		

大津市中心市街地活性化協議会プロジェクト会議 事業計画及び活動実績

プロジェクト会議名	水空間デザインプロジェクト会議
-----------	-----------------

年度	活動計画（予定含む）・活動実績※具体的に	中活協議会予算支出予定額・実績額内容
平成25年度 （実績）	①湖岸エリアの現状把握 ・湖岸エリアの歴史、変遷を把握 ②水辺をとらえる研究会の開催 ・勉強会 ・フィールドワーク	実績額：78,819円 内訳： ②研究会開催費 78,819円 （資料代、貸し室代、学生交通費等）
平成26年度 （予定）	①湖岸エリアの現状把握 ・関係法令等の整理 ②水辺をとらえる研究会の開催 ・水辺空間模型の作成 ③関係機関との事前協議 ④湖岸エリアの方向性の整理 ⑤提案内容（案）のまとめ	予算額：450,000円 内訳： ②研究会開催費 150,000円 模型製作費 300,000円
平成27年度 （予定）	①関係機関との協議 ②提案内容のブラッシュアップ ③提案内容のまとめ ④事業を提案	予算額：450,000円 内訳： ②③提案内容検討費 450,000円
平成28年度 （予定）		
平成29年度 （予定）		